

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	北陸財務局長
【提出日】	平成25年10月11日
【四半期会計期間】	第81期第1四半期（自 平成25年6月1日 至 平成25年8月31日）
【会社名】	三光合成株式会社
【英訳名】	SANKO GOSEI LTD.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 黒田 健宗
【本店の所在の場所】	富山県南砺市土生新1200番地
【電話番号】	(0763)52-7105
【事務連絡者氏名】	取締役上級執行役員 芹川 明
【最寄りの連絡場所】	富山県南砺市土生新1200番地
【電話番号】	(0763)52-7105
【事務連絡者氏名】	取締役上級執行役員 芹川 明
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 (東京都中央区日本橋兜町2番1号)

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

回次	第80期 第1四半期連結 累計期間	第81期 第1四半期連結 累計期間	第80期
会計期間	自平成24年6月1日 至平成24年8月31日	自平成25年6月1日 至平成25年8月31日	自平成24年6月1日 至平成25年5月31日
売上高(千円)	9,427,057	9,667,460	43,865,523
経常利益(千円)	746,629	220,952	2,833,842
四半期(当期)純利益(千円)	601,144	187,410	1,905,787
四半期包括利益又は包括利益(千円)	704,969	108,919	3,182,549
純資産額(千円)	7,928,554	10,169,044	10,341,470
総資産額(千円)	27,632,145	30,981,554	32,148,511
1株当たり四半期(当期)純利益金額 (円)	28.72	8.95	91.06
潜在株式調整後1株当たり四半期 (当期)純利益金額(円)	-	-	-
自己資本比率(%)	26.9	29.9	29.4

(注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。

2. 売上高には、消費税等は含んでおりません。

3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2【事業の内容】

当第1四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)が営む事業の内容について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社における異動もありません。

第2【事業の状況】

1【事業等のリスク】

当第1四半期連結累計期間において、新たに発生した事業等のリスクはありません。
また、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについて重要な変更はありません。

2【経営上の重要な契約等】

当第1四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループ（当社及び連結子会社）が判断したものであります。

（1）業績の状況

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新政権による経済対策や金融政策の効果に対する期待感から円高の是正や株価の上昇が見られ、景気は緩やかな回復の動きがあります。しかしながら、国内では電気料金の値上げ、原油高による原材料価格の上昇等による景気の減速感があり、海外においても、長引く欧州債務問題、新興国の景気の後退等により、依然として先行き不透明な状況が続いております。

この様な経済環境の中、当社グループでは前連結会計年度に引き続き、生産効率の向上を図り労務費や経費の圧縮に努め、原価低減活動を積極的に進めてまいりました。一方、海外関係につきましては、昨年7月にメキシコに設立いたしました「SANKO GOSEI MEXICO, S.A. DE C.V.」の工場操業を目前に控え最終調整を行っております。また、5月にフィリピンに設立いたしました「SANKO GOSEI PHILIPPINES, INC.」では工場建設が始まり本年末の稼働を予定しております。

これらの結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は9,667百万円（前年同期比2.6%増）となりました。利益面におきましては、営業利益は376百万円（前年同期比9.1%減）、経常利益は持分法投資利益の大幅減により220百万円（前年同期比70.4%減）、四半期純利益は187百万円（前年同期比68.8%減）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

日本

成形品部門において、車両用内外装部品及び情報通信機器関連の受注減の影響もあり減収となりました。また、金型部門では車両向けの受注が大きく増加しました。

この結果、売上高は4,007百万円（前年同期比11.9%減）となり、セグメント利益は396百万円（前年同期比9.8%増）となりました。

欧州

車両用内外装部品の受注が増加し、売上高は838百万円（前年同期比3.9%増）となり、セグメント利益は12百万円（前年同期比126.1%増）となりました。

アジア

タイ、インドネシアを中心に自動車の生産台数が増加する中、車両用内外装部品及び車両向け金型の受注が堅調に推移し、売上高は4,820百万円（前年同期比18.4%増）となりましたが、セグメント利益は労務費等の増加もあり154百万円（前年同期比34.4%減）となりました。

北米

売上高につきましては、生産開始予定が平成25年11月のため発生しておりませんが、操業準備費用等により14百万円のセグメント損失となりました。

なお、部門別の売上の状況は、次のとおりであります。

部門別		当第1四半期連結累計期間 (自 平成25年6月1日 至 平成25年8月31日)	
		売上高(百万円)	前年同四半期比(%)
成形品	情報・通信機器	1,432	16.6
	車両	6,951	7.3
	家電その他	452	4.3
成形品計		8,836	2.4
金型		831	3.9
合計		9,667	2.6

(2) 財政状態の分析

当第1四半期連結会計期間末の資産合計は、30,981百万円(前連結会計年度末比1,166百万円減)となりました。流動資産は15,777百万円と前連結会計年度末比938百万円減少しておりますが、主に現金及び預金の減少393百万円並びに受取手形及び売掛金の減少828百万円によるものであります。固定資産は15,203百万円と前連結会計年度末比228百万円減少しておりますが、これは、有形固定資産の減価償却等による減少313百万円が主な要因であります。

当第1四半期連結会計期間末の負債合計は、20,812百万円(前連結会計年度末比994百万円減)となりました。これは、主に長短借入金の減少282百万円及び未払法人税等の減少191百万円によるものであります。

当第1四半期連結会計期間末の純資産合計は、10,169百万円(前連結会計年度末比172百万円減)となりました。これは、主に利益剰余金の増加124百万円及び為替換算調整勘定の減少301百万円によるものであります。

(3) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第1四半期連結累計期間において、当社グループの事業上及び財務上の対処すべき課題に重要な変更及び新たに生じた課題はありません。

(4) 研究開発活動

当第1四半期連結累計期間におけるグループ全体の研究開発費は95百万円であります。

なお、当第1四半期連結累計期間において、当社グループの研究開発活動の状況に重要な変更はありません。

第3【提出会社の状況】

1【株式等の状況】

(1)【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	43,200,000
計	43,200,000

【発行済株式】

種類	第1四半期会計期間末現在 発行数(株) (平成25年8月31日)	提出日現在発行数(株) (平成25年10月11日)	上場金融商品取引所名又は 登録認可金融商品取引業協 会名	内容
普通株式	21,121,569	21,121,569	東京証券取引所 JASDAQ (スタンダード)	単元株式数 1,000株
計	21,121,569	21,121,569	-	-

(2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式総 数増減数 (株)	発行済株式総 数残高 (株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金増 減額(千円)	資本準備金残 高(千円)
平成25年6月1日～ 平成25年8月31日	-	21,121,569	-	1,890,800	-	1,742,393

(6)【大株主の状況】

当四半期会計期間は第1四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(7)【議決権の状況】

当第1四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日（平成25年5月31日）に基づく株主名簿による記載をしております。

【発行済株式】

平成25年8月31日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式(自己株式等)	-	-	-
議決権制限株式(その他)	-	-	-
完全議決権株式(自己株式等)	普通株式 195,000	-	-
完全議決権株式(その他)	普通株式 20,763,000	20,763	-
単元未満株式	普通株式 163,569	-	-
発行済株式総数	21,121,569	-	-
総株主の議決権	-	20,763	-

【自己株式等】

平成25年8月31日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義所有株式数(株)	他人名義所有株式数(株)	所有株式数の合計(株)	発行済株式総数に対する所有株式数の割合(%)
三光合成(株)	富山県南砺市土生新1200番地	195,000	-	195,000	0.92
計	-	195,000	-	195,000	0.92

2【役員の状況】

該当事項はありません。

第4【経理の状況】

1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第1四半期連結会計期間（平成25年6月1日から平成25年8月31日まで）及び第1四半期連結累計期間（平成25年6月1日から平成25年8月31日まで）に係る四半期連結財務諸表について、有限責任 あずさ監査法人による四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】
(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年5月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,218,121	3,824,624
受取手形及び売掛金	8,898,546	8,070,311
商品及び製品	686,998	690,826
仕掛品	821,858	1,209,424
原材料及び貯蔵品	691,360	573,370
その他	1,406,000	1,415,946
貸倒引当金	7,058	6,915
流動資産合計	16,715,827	15,777,588
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	4,696,860	4,426,223
機械装置及び運搬具(純額)	4,315,836	4,433,372
土地	2,979,831	2,864,392
建設仮勘定	447,526	511,507
工具、器具及び備品(純額)	1,633,453	1,524,871
有形固定資産合計	14,073,508	13,760,366
無形固定資産		
その他	42,587	45,017
無形固定資産合計	42,587	45,017
投資その他の資産		
投資有価証券	1,190,596	1,204,558
その他	189,131	257,164
貸倒引当金	63,140	63,140
投資その他の資産合計	1,316,588	1,398,582
固定資産合計	15,432,683	15,203,966
資産合計	32,148,511	30,981,554

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年5月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年8月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	6,781,559	7,027,052
短期借入金	1,466,007	1,350,177
1年内返済予定の長期借入金	2,338,371	2,199,052
1年内償還予定の社債	360,000	360,000
未払法人税等	288,650	97,644
役員賞与引当金	29,058	-
その他	3,777,648	3,115,183
流動負債合計	15,041,295	14,149,109
固定負債		
社債	1,140,000	1,090,000
長期借入金	2,997,042	2,970,071
退職給付引当金	190,728	221,548
役員退職慰労引当金	88,262	23,400
その他	2,349,711	2,358,379
固定負債合計	6,765,744	6,663,399
負債合計	21,807,040	20,812,509
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,890,800	1,890,800
資本剰余金	1,742,393	1,742,393
利益剰余金	6,256,582	6,381,214
自己株式	40,315	40,315
株主資本合計	9,849,460	9,974,092
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,800	1,740
為替換算調整勘定	413,892	715,158
その他の包括利益累計額合計	410,092	713,417
少数株主持分	902,103	908,370
純資産合計	10,341,470	10,169,044
負債純資産合計	32,148,511	30,981,554

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年6月1日 至平成24年8月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年6月1日 至平成25年8月31日)
売上高	9,427,057	9,667,460
売上原価	7,812,681	8,191,743
売上総利益	1,614,375	1,475,717
販売費及び一般管理費	1,200,390	1,099,371
営業利益	413,984	376,345
営業外収益		
受取利息及び配当金	1,573	2,578
持分法による投資利益	400,606	-
為替差益	4,582	-
受取手数料	2,342	4,522
スクラップ収入	9,784	6,643
その他	15,409	6,717
営業外収益合計	434,298	20,462
営業外費用		
支払利息	80,847	89,717
持分法による投資損失	-	7,009
為替差損	-	71,939
その他	20,806	7,187
営業外費用合計	101,653	175,855
経常利益	746,629	220,952
特別利益		
固定資産売却益	68	2,602
スワップ差益	-	424
特別利益合計	68	3,027
特別損失		
固定資産除却損	6,903	6,213
固定資産売却損	1,260	162
スワップ差損	901	-
特別損失合計	9,064	6,376
税金等調整前四半期純利益	737,633	217,602
法人税等	85,962	55,924
少数株主損益調整前四半期純利益	651,670	273,527
少数株主利益	50,526	86,117
四半期純利益	601,144	187,410

【四半期連結包括利益計算書】
 【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成24年6月1日 至 平成24年8月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成25年6月1日 至 平成25年8月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	651,670	273,527
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	83	3,988
為替換算調整勘定	9,935	403,787
持分法適用会社に対する持分相当額	43,280	25,329
その他の包括利益合計	53,298	382,447
四半期包括利益	704,969	108,919
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	644,640	115,914
少数株主に係る四半期包括利益	60,328	6,995

【注記事項】

(四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(四半期連結貸借対照表関係)

四半期連結会計期間末日満期手形の会計処理については、当四半期連結会計期間末日が金融機関の休日でしたが、満期日に決済が行われたものとして処理しております。当四半期連結会計期間末日満期手形の金額は、次のとおりであります。

	前連結会計年度 (平成25年5月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年8月31日)
受取手形	- 千円	12,270千円
支払手形	-	464,256
設備支払手形(流動負債「その他」)	-	36,040

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及び負ののれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年6月1日 至平成24年8月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年6月1日 至平成25年8月31日)
減価償却費	351,763千円	420,801千円
負ののれんの償却額	414	-

(株主資本等関係)

前第1四半期連結累計期間(自平成24年6月1日 至平成24年8月31日)

配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成24年8月29日 定時株主総会	普通株式	62,789	3	平成24年5月31日	平成24年8月30日	利益剰余金

当第1四半期連結累計期間(自平成25年6月1日 至平成25年8月31日)

配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成25年8月28日 定時株主総会	普通株式	62,777	3	平成25年5月31日	平成25年8月29日	利益剰余金

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自平成24年6月1日至平成24年8月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額 (注)1	連結財務諸表 計上額 (注)2
	日本	欧州	アジア	北米	計		
売上高							
外部顧客への売上高	4,549,457	807,167	4,070,432	-	9,427,057	-	9,427,057
セグメント間の内部売上高 又は振替高	362,293	444	233,840	-	596,578	596,578	-
計	4,911,751	807,611	4,304,273	-	10,023,636	596,578	9,427,057
セグメント利益	361,526	5,386	235,824	-	602,736	188,752	413,984

(注)1. セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去 37,349千円及び各報告セグメントに配分していない
 全社費用 151,402千円であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する情報

該当事項はありません。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

当第1四半期連結累計期間(自平成25年6月1日至平成25年8月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額 (注)1	連結財務諸表 計上額 (注)2
	日本	欧州	アジア	北米	計		
売上高							
外部顧客への売上高	4,007,889	838,930	4,820,640	-	9,667,460	-	9,667,460
セグメント間の内部売上高 又は振替高	420,208	3,422	223,810	-	647,441	647,441	-
計	4,428,098	842,352	5,044,451	-	10,314,902	647,441	9,667,460
セグメント利益又は損失()	396,922	12,180	154,690	14,951	548,842	172,497	376,345

(注)1. セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去 29,006千円及び各報告セグメントに配分していない
 全社費用 143,490千円であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する情報

前連結会計年度にメキシコに「SANKO GOSEI MEXICO, S.A. DE C.V.」(連結子会社)を設立したため、当第1四
 半期連結会計期間より、地域別セグメントとして「北米」を報告セグメントとして新設しております。

なお、前第1四半期連結累計期間のセグメント情報は、変更後の報告セグメントの区分に基づき作成してあり
 ます。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年6月1日 至平成24年8月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年6月1日 至平成25年8月31日)
1株当たり四半期純利益金額	28円72銭	8円95銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額(千円)	601,144	187,410
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る四半期純利益金額(千円)	601,144	187,410
普通株式の期中平均株式数(株)	20,929,731	20,925,927

(注)潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2【その他】

該当事項はありません。

第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成25年10月11日

三光合成株式会社

取締役会 御中

有限責任 あずさ監査法人

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 近藤 久晴 印

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 笠間 智樹 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている三光合成株式会社の平成25年6月1日から平成26年5月31日までの連結会計年度の第1四半期連結会計期間（平成25年6月1日から平成25年8月31日まで）及び第1四半期連結累計期間（平成25年6月1日から平成25年8月31日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備又は運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、三光合成株式会社及び連結子会社の平成25年8月31日現在の財政状態及び同日をもって終了する第1四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

(注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期

報告書提出会社）が別途保管しております。

2. 四半期連結財務諸表の範囲にはXBR Lデータ自体は含まれておりません。